

笑顔・挨拶・やさしさでつむぐ ウェルビーイングを実感できる湯沢町へ

活動者を 増やす・育む「人」

- ボランティア活動の推進
- ボランティアの発掘・育成
- きっかけづくり講座・研修会
- ふくし協育事業
- 災害時支援



全世代とつながる・ 力を活かす「場」

- 交流の場や居場所づくり
- 当事者活動の支援
- 多世代交流の場



ウェルビーイングを 実感できる湯沢町



多くの人に届ける・ 受け留める「伝える」

- 多様な手段を活用しての
情報発信
- 相談支援の充実と連携



ひとりにさせない・ 地域で支える「仕組み」

- 見守り活動
- 住民主体の有償福祉活動
- 住民組織の支援
- 地域福祉活動計画づくり
- 除雪支援
- 各種援護事業
- 各種相談支援事業
- 介護・生活支援サービス
- 放課後児童健全育成事業



湯沢町地域福祉活動計画に関するお問い合わせは下記までお願いします。

社会福祉法人 湯沢町社会福祉協議会

〒949-6101 新潟県南魚沼郡湯沢町大字湯沢2877-1
TEL 025-784-4111 FAX 025-785-6661

湯沢町地域福祉活動計画の全文をご覧になりたい場合は
湯沢町社会福祉協議会HP <http://yuzawa-syakyo.jp/>までアクセスしてください。

概要版

第3期 みんなでつくろう あったかい町 ゆざわ

湯沢町地域福祉活動計画 令和7年度～令和11年度



地域福祉活動計画はこんな計画

「地域福祉活動」とは、こどもから高齢者まで、障がいのある人もない人も誰もがその地域で自分らしく安心して暮せることを目指し、「地域」に視点を置き、人と人とのつながりを大切にし、お互いが助け合う関係やその仕組みを作り上げていく活動です。

地域福祉活動計画は、誰もが安心して暮せる地域づくりのため、町民や各事業者・関係者などが同じ視点で活動に取り組むための計画です。

この計画の主人公はあなた

この計画の何よりの特徴は、わたしたち一人ひとりが主人公の計画だということです。

それは、地域福祉活動は、町民のさまざまな「困りごと」を放ってはおけないという、わたしたちの主体的な「思い」から生まれ、関わる全ての町民の参加により進めていくことが大切だと考えるからです。

社会福祉法人 湯沢町社会福祉協議会

地域福祉に関わる
全ての人々や団体と共に目指す
4つの目標と取り組み

「みんなでつくろう あったかい町 ゆざわ」を実現しよう！

第3期 湯沢町地域福祉活動計画



基本目標①

活動者を
増やす・育む
「人」

① 地域活動に関心を持ち、参加してみよう

- ホームページや広報紙、友人同士のクチコミなどを活用し、活動に関する情報を得るため、自身のアンテナを張りましょう。
- ボランティア活動や地域の行事、趣味活動など、まずは自分が関心を持った活動から始めてみましょう。
- 自分の達成感、充実感を満たす活動を見つけ、参加してみましょう。
- 自分でできる活動を楽しみ、無理なく続けてみましょう。
- 得意分野や趣味を活かした活動を提案してみましょう。

② 参加しやすくなる、きっかけをつくろう

- おせっかいでも自分の周りの人たちへ積極的に声を掛け、誘ってみましょう。
- 人が多く集まる機会を活用し、やりたいこと、広めたいことをPRしてみましょう。
- 活動の楽しさや効果を周囲の人に伝えてみましょう。
- 誰もが参加できるような内容、企画を考えてみましょう。特に若い世代と一緒に参加できるといいですね。

③ 全世代で「ふくし協育」を進めよう

- いつでも、どこでも、だれとでも挨拶を交わしましょう。
- さまざまな場面で、誰もが交流できる機会を作りましょう。
- 地域や湯沢学園、町の行事に積極的に参加してみましょう。
- お祭りや伝統文化、スポーツなどさまざまな内容で多くの人が参加できるものを企画してみましょう。
- 福祉関係・教育関係・地域団体など、さまざまな関係団体と協働してみるといいですね。



基本目標②

全世代と
つながる・
力を活かす
「場」

① 人と人がつながる場に参加しよう

- 地域でどのような集いの場が開催しているか調べてみましょう。
- 多くの人に活動が広まるように、さまざまな手段で情報を発信しましょう。
- 地域でサロン活動やお茶のみ会があったら参加してみましょう。
- 自分が参加している場に友達も誘ってみましょう。
- 地域行事やイベント等に積極的に参加してみましょう。

② 世代・分野を超えて交流する場をつくろう

- こどももおとなもすべての人たちが尊重し合いましょう。
- 年齢や世代、境遇にとらわれない誰もが参加できるメニューで集まる場を企画してみましょう。
- 従来からの行事やイベントに、さらにさまざまな人が参加できるようにできないか検討してみましょう。
- 中止や縮小されてしまったものが、再開できないか検討してみましょう。

③ 同じ立場の人同士つながる場をつくろう

- 同じ立場の人の集まる場、情報交換の場があったら参加してみましょう。
- どのような集まる場があるのか、対象となる相手に合わせて情報発信をしていきましょう。
- 当事者や活動目的に合わせた内容でつながる場を計画してみましょう。
- 仲間や相談できる人をつくり、こころの健康を保つようにしましょう。



基本目標③

ひとりにさせない・
地域で支える
「仕組み」



① 助け合い・連携で地域課題を解決しよう

- 日頃から地域での交流を深め、関わりを持つようにしましょう。
- お互いさまの意識を持ち、過度な負担とならない程度の助け合い活動を行ってみましょう。解決できないことは、関係機関に相談しましょう。
- 自分たちが住む地域の困りごとについて、話し合ってみましょう。
- お互いさまの意識を広め、関心がある人を誘い一緒に取り組んでみましょう。

② 孤立のない地域をつくろう

- 日頃から挨拶を交わし、ご近所づきあいを大切にしましょう。
- 必要な時には、勇気をもって自分から助けを求めましょう。
- 隣近所で気になる人がいる場合は見守り、気に掛けてみましょう。必要があれば関係機関に相談しましょう。
- 孤立しやすい環境にある人を出来る限り把握し、関係機関につなげましょう。

基本目標④

多くの人に届ける・
受け留める
「伝える」



① 幅広い世代に情報を届けよう

- 広報紙や回覧板、SNS 等を活用し、自分を取りやすい方法で必要な情報を得ましょう。
- 地域行事や活動に参加して情報収集し、また自らがPRマンとなり情報発信をしましょう。
- 地域住民同士で情報の共有をしましょう。
- 集会場やマンションロビー等、多くの人が行き来する場所にチラシ等を掲示、設置してもらいましょう。

② 「困っている・助けて」を受け留め、つなげよう

- 安心して話せる場所が必ずあります。まずは相談してみましょう。
- 近所づきあいを大切にし、何か困った時には相談できる関係を作っておきましょう。
- 困っている人がいたら、相談窓口を紹介しましょう。
- 相談を受けたら、相手の話をよく聴きましょう。

相談窓口

- 湯沢町社会福祉協議会 025-784-4111
- 湯沢町健康福祉部 025-784-4560

